

イタリアの歌

名曲コンサート

第62回日伊声楽コンクール入賞者
及び 豪華ゲストがお届けする
名曲の数々をお楽しみください

森谷真理 (ソプラノ)
Mari Moriya, soprano

©TAKUMI JUN



第1位

矢澤 遼 (テノール)
Ryo Yazawa, tenor



第2位

翟 春皓 (テノール)
Chunhao Zhai, tenor



第3位

黒田 美羽 (ソプラノ)
Miwa Kuroda, soprano

樋口達哉 (テノール)
Tatsuya Higuchi, tenor

©T.Tairadate

第1部

第62回 日伊声楽コンクール1~3位入賞者

矢澤 遼/テノール

G. プッチーニ: 歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「フィレンツェは花咲く木のように」

G. Puccini: «Gianni Schicchi» "Firenze è come un albero fiorito"

翟 春皓/テノール

G. プッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」より「冷たい手を」

G. Puccini: «La Bohème» "Che gelida manina"

黒田 美羽/ソプラノ

G. プッチーニ: 歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」

G. Puccini: «Madama Butterfly» "Un bel dì, vedremo"

第2部

森谷 真理/ソプラノ

G. ヴェルディ: 「マクベス」より「ここにまだ一つの染みがある」

G. Verdi: «Macbeth» "Una macchia è qui tuttora"

樋口 達哉/テノール

U. ジョルダノ: 「アンドレア・シェニエ」より「ある日、青空を眺めて」

U. Giordano: «Andrea Chénier» "Un dì all'azzurro spazio"

森谷・樋口/二重唱

U. ジョルダノ: 「アンドレア・シェニエ」より「あなたの傍らで」

U. Giordano: «Andrea Chénier» "Vicino a te s'acqueta l'irrequieta anima mia"

他 ※曲目は変更となる場合がございます。

河原 忠之 (ピアノ)

Tadayuki Kawahara, piano

©K.Miura

2026

11.28^[土]

14:00開演(13:30開場)

よみうり大手町ホール

チケット(税込)全席指定: 5,000円/学生券 2,500円(30歳未満・要学生証)

チケット 9月19日(土)一般発売開始

チケットお申込み: ●イープラス <https://eplus.jp/> (PC&携帯) ●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (PC&携帯)(Pコード:337-209)

●ローンチケット <https://l-tike.com/> (PC&携帯)(Lコード:35850)

●日本オペラ振興会チケットセンター 044-819-5550 (平日10:00~18:00) ●teket(電子チケット) <https://teket.jp/15172/77591>

主催: 日伊音楽協会、読売新聞社 後援: 文化庁、イタリア大使館/日伊160周年、イタリア文化会館、日伊協会

特別協賛: YKK株式会社 特別協力: 西宮市プレハルホール

協賛: 日本通運株式会社、NX商事株式会社、トヨタモビリティ東京株式会社、ネットヨタ大阪株式会社、鹿島建設株式会社、

株式会社ケン・コーポレーション、山崎製パン株式会社、ヤマザキビスケット株式会社、日清製粉株式会社、オリエンタル酵母工業株式会社、

ミヨシ油脂株式会社、月島食品工業株式会社、医療法人社団弘知会、湖山医療福祉グループ、第一建設株式会社、株式会社プロロジス

助成: 江副記念リクルート財団

お問合せ: AMATI Tel.03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S103 <https://www.amati-tokyo.com>



東京都千代田区大手町1-7-1 大手町駅C3出口直結

日伊声楽コンクールは、日本のオペラ界を担う人材の発掘と育成を目指して1964年に始まり、今年で62回を迎えることができました。

これまでイタリア・オペラのアリアと歌曲を課題曲とする、極めて専門的で芸術性の高いコンクールとして知られています。

本年は91名の応募者の中から1次、2次予選、そして本選を勝ち抜いた3名が入賞の荣誉に輝きました。

この「イタリアの歌 名曲コンサート」は入賞者3名にとって日本のオペラ界へのお披露目の場となります。

また、すでに多くの舞台で活躍めざましい2名のオペラ歌手、

森谷真理さん(ソプラノ)と樋口達哉さん(テノール)がゲスト出演し、ステージを盛り上げてくれます。

PROFILE



©TAKUMI JUN

森谷 真理 [ソプラノ] Mari Moriya, soprano

武蔵野音楽大学、同大学院卒業後、マネス音楽院修了。メトロポリタン歌劇場『魔笛』夜の女王で大成功を収めた。リンツ州立劇場の専属歌手を務め、欧米の多数の歌劇場で活躍。近年ではザクセン州立歌劇場で『蝶々夫人』を主演。国内では主要歌劇場で、多種多様な役柄を演じ、常に高く評価されている。オーケストラとの共演では、ベルク『ヴォツェック』より3つの断章、R.シュトラウス『4つの最後の歌』、マーラー交響曲第4番、『千人の交響曲』等が絶賛され、ドイツではARDジルベスターコンサート及びゲヴァントハウスでMDR交響楽団とフィリップ・グラス『The Voyage』はドイツ国内に放送され、鮮やかで高度な歌唱を印象付けた。東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学講師。

公式サイト <https://marimoriya.com/>



©T.Tairadate

樋口 達哉 [テノール] Tatsuya Higuchi, tenor

福島県出身。武蔵野音楽大学、同大学院修了後に渡伊。カルーソー国際声楽コンクール最優秀賞受賞。ハンガリー国立歌劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォでデビュー後、ミラノ・スカラ座やメトロポリタン歌劇場管弦楽団との共演などイタリアを中心に活躍。ミラノ大聖堂、ヴァチカン等のコンサートでも成功を収める。国内でも二期会、新国立劇場、日生劇場等で『道化師』『トゥーランドット』『トスカ』『蝶々夫人』『ドン・カルロ』『椿姫』『カヴァレリア・ルスティカーナ』『ファルスタッフ』『サムソンとデリラ』『ホフマン物語』『さまよえるオランダ人』『ルサルカ』『夕鶴』等出演。コンサート・ソリストとしても全国各地のオーケストラと共演、「NHKニューイヤーオペラコンサート」「題名のない音楽会」等メディアでも活躍。CD《あこがれ Ti adoro》等多数リリース。2026年9月二期会『運命の力』ドン・アルヴァーロにて出演。出身地・二本松市観光大使。東京藝術大学、武蔵野音楽大学講師。オンラインサロン【ヒグタツ倶楽部】開設。二期会会員

第62回 日伊声楽コンクール1~3位入賞者



1 位

矢澤 遼 [テノール]

Ryo Yazawa, tenor

埼玉県出身。東京音楽大学音楽学部声楽特別演奏家コース卒業。同大学卒業演奏会に出演。在学時、大学

給付奨学金を受領。第62回日伊声楽コンクール2026にて第一位、及び歌曲賞、五十嵐喜芳賞を受賞。これまでの出演歴に新国立劇場オペラスタジオ公演W.A.モーツァルト『フィガロの結婚』バジリオ／ドン・クルツィオ。O.レスピーギ『ルクレチア』コッラティノ／ブルート。O.ニコライ『ウィンザーの陽気な女房たち』フェントン。G.ブッチーニ『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョ。L.v.ベートーヴェン『交響曲第9番』ソリスト。また『ANAスカラシップ生』としてミラノ・スカラ座アカデミー、およびミュンヘン・バイエルン州立歌劇場研修所で短期研修。声楽を小森輝彦、木下美穂子、九嶋香奈枝、加未徹の各氏に師事。現在、新国立劇場オペラスタジオ第27期在籍。



2 位

翟 春皓 [テノール]

Chunhao Zhai, tenor

翟春皓は、中国山東省青島市出身のテノール。2004年生まれ。2019年より声楽を学び始め、中国の声楽家のもとで研鑽を積む。2024年昭和音楽大学音楽学部に入學し、現在2年次に在籍。藤原海孝氏に師事。2024年、韓国春川国際声楽コンクールA組専門大学外国作品(オペラ・アリア)部門第1位を受賞。2026年には第62回日伊声楽コンクール第2位ならびに五十嵐喜芳賞を受賞した。現在はオペラを中心に声楽と舞台表現の研鑽を重ね、イタリアオペラのレパートリーを中心に、豊かな響きと自然なフレージング、言葉の表現を大切にしながら、さらなる高みを目指している。



3 位

黒田 美羽 [ソプラノ]

Miwa Kuroda, soprano

大阪府堺市出身。相愛大学音楽学部声楽専攻を卒業後、同大学音楽専攻科を修了。2016年、公益財団法人

青山音楽財団奨学生に選出。第18回大阪国際音楽コンクール声楽部門Age-Uオペラコース第2位(第1位なし)。2023年に渡伊し、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ音楽院大学院課程(Biennio)にて研鑽を積む。イタリアで開催された「2° Edizione Premio Courir per la musica」コンクール優勝、「Premio del Conservatorio 2023」声楽部門第2位。2026年、第62回日伊声楽コンクール第3位入賞。2026年12月にはブッチーニ作曲『トゥーランドット』タイトルロールでの出演を予定している。山田健司、泉貴子、Monica Bozzo、松原友、倉橋久子の各氏に師事。



河原忠之 [ピアノ]

Tadayuki Kawahara, piano

日本を代表する錚々たる歌手たちから共演者として抜群の信頼を得る、日本の“歌”を支える声楽伴奏のスペシャリスト。アルド・プロッティ氏の伴奏ピアニストを務めた経験から紡ぎだされる幅広い音色と、イタリアで培った繊細な音楽表現には定評がある。2019年NHKニューイヤーオペラコンサートに出演した「太門」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU(イル・デーヴ)のピアノ・メンバーであり、指揮者、企画プロデューサーとしても活躍。国立音楽大学卒業、同大学院修了。同大・同大学院教授、沖縄県立芸術

大学非常勤講師、日本ヴェルディ協会理事、日伊声楽コンクール審査員。新国立劇場オペラ研修所でも音楽主任講師として長年後進の指導にあたってきた。



奥田佳道 [音楽評論家]

Yoshimichi Okuda, music critic

東京生まれ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。日本テレビ「深夜の音楽会」(現:読響プレミア)の司会を務めた。現在NHK「音楽の泉」、ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)、「1冊でわかるポケット教養シリーズ〈バイオリンを知る本〉」(YAMAHA)ほか。

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。